

リニア工費大幅増！！

直ちにリニア中央新幹線事業から撤退を！

リニア中央新幹線東京・品川―名古屋間の総工費が7兆円だった従来費用が11兆円へと大幅に増額になることが明らかになりました。途方もなく膨大な総工費を一民間企業が負担するという事です。

JR東海会社は、「健全経営と安定配当を保ちながら工事を進められる」としていますが、東海道新幹線の運輸収入が唯一の頼みの綱であり、まさに綱渡り経営であると言えます。今後さらに工事費が上がれば鉄道運賃への価格転嫁（つまりは運賃値上げ）を行うとしています。

現場ではより一層効率化が求められ今まで以上に社員には労働強化がなされるのは必至です。

仮置き2035年開業からの？建設費試算11兆円のマヤカシ！

会社は建設費を11兆円と試算した開業時期を2035年に仮置きしていますが、そもそも静岡工区の工事期間を10年としていることから、既に静岡工区の工事が開始していなければ成り立ちません。つまり、建設費は11兆円では済まされず、今後もドンドン増え続けるという事です。

何よりも環境を破壊するリニア中央新幹線建設反対！

10月28日、東京・品川区のリニア中央新幹線（北品川工区）の工事現場付近の道路が隆起しているのが見つかり作業の中断、2024年以降、岐阜県瑞浪市大湫盆地内では水位低下や地盤沈下、愛知県春日井市では2019年以降、西尾工区においてトンネル掘削以降、同市明知町で「井戸水が濁る」「井戸の水位が下がった」「池の湧水が減少、涸れた」「工場の壁にひびが入り、床がでこぼこになって水平ではなくなった」等の発生が相次いでいます（JR東海労なごや情報 No.1252参照）。

私たちJR東海労名古屋地本は、**リニア建設の中止**を強く要求し続けます。